

3 スクールポリシー

このような生徒を求めています。

工業科や水産科の学習を通して、入学後もものづくりや水産・海洋に興味・関心を持ち、自らの進路実現に向けて取り組む意欲がある生徒、また、文化活動・体育活動・奉仕活動等において、入学後も積極的に取り組む意欲がある生徒を求める。

このような学びを行います。

特色ある各学科の授業を通して、基礎学力の定着から専門的知識・技術の習得まで段階的・計画的に行う。そして、インターンシップやボランティア活動等の体験型学習を通して地域社会との連携も深める。また、資格取得を推奨し、就職率 100%の実現と共に大学進学にも力を入れている。

卒業までにこのような生徒を育てます。

自ら学び、考え、主体的に判断し、行動する意欲や能力、夢や理想の実現に向かってチャレンジする精神や態度、自然との共生を考えることのできる人材、社会の担い手としての望ましい勤労観・職業観のある人材を育成する。

4 指導計画

< 多度津高校 スクールポリシー >

自ら学び、考え、主体的に判断し、行動する意欲や能力、夢や理想の実現に向かってチャレンジする精神や態度、自然との共生を考えることのできる人材、社会の担い手としての望ましい勤労観・職業観のある人材を育成する。



< 機械科 >

1 年次

< 機械に興味を持つ >

機械に興味を持ち、機械加工の基礎を学び、可能性を知る。

< 機械への第一歩 >

座学においては機械に共通する内容を学ぶ。実習においては、測る・切る・削る・接合するを学ぶ。

2 年次

< 専門性を深める >

機械・電子機械・造船の三つのコースに分かれ、違う視点から機械を理解する。

< 各コースから機械を学ぶ >

コースごとに選択科目も変わり、実習内容も専門性が高くなる。

3 年次

< 活用力・表現力 >

身に付けた知識・技術を生かし、作品製作を通して、クラフトマンシップを養う。

< 課題研究への取り組み >

設計・素材調達・加工・組立・動作確認・成果発表を行い、モノができていく過程と心構えを学ぶ。

< 電気科 >

1 年次

< 興味 >

職業人としての意識を持ち、電気が社会で果たす役割を理解する。

< 資格試験への挑戦 >

製作実習などを通して、ものづくりへの魅力を実感すると共に、資格試験にも挑戦する。

2 年次

< 向上 >

実践的・体験的な学習活動を行うことで、専門性の向上をはかる。

< 進路意識の向上 >

自分の希望する専門分野の学習を深め、就業体験などを通して職業について考える。

3 年次

< 喜び >

体系的な学習を通し、電気技術者として社会の発展に貢献できる喜びを理解する。

< さらなる飛躍 >

課題解決型の学習により、進学先・就職先でのさらなる飛躍をめざす。

< 土木科 >

1 年次

< 基礎・基本を習得 >

基礎・基本の定着と、ものづくりの楽しさを学びながら視野を広げる。

< 実践的・体験的な学習活動 >

○現場見学会

○実習

測量：地物の形や広さを測る。

製図：図面（地図）を作成する。

2 年次

< 技能・技術の習得 >

技能・技術を身に付け、専門分野の知識・理解を深める。

< 積極的な資格取得への挑戦 >

○測量士補

○小型車両建設機械特別講習

○2級土木施工管理技士学科（準備）

3 年次

< 技術者倫理の修得 >

基礎・基本、技能・技術を応用させ、創造的に課題解決する力を身に付ける。

< 技術者倫理について考える >

○課題研究（報告会）

○インターンシップ（報告会）

○専門職（プロ）を招いた授業

○進路決定

<建築科>

1 年次

<建築への興味・関心>
基礎学力の定着に加え、多くの建築物を知り、興味や関心を持つ。また理想の建築を考え、表現する。

<見て聞いて知る>

- 講演会（建設業全体）
- 現場見学（工場見学等）
- 実習・製図

2 年次

<幅広い知識の定着>
多くの専門科目を学び、業種について考え進路意識を持つ。また将来の目標を定め、実現に向けて考える。

<発表等の表現を行う>

- 講演会（具体的な職種）
- 現場見学（工場見学等）
- 実習・製図

3 年次

<進路意識を実現へ>
目標に向かって具体的な行動を行う。職場体験や座談会を通して自分の将来について考え、実践する。

<実践的な取り組み>

- 講演会 ○工場見学 ○インターンシップ ○建設業者との座談会 ○課題研究

<海洋技術科>

1 年次

<協調性の涵養>
海で働く者として自然の摂理に従い、他人に迷惑をかけず、助け合い譲り合う精神を身に付ける。

<海上実習>

校内（海上）での授業実習（特に団体行動、カッター訓練等）。船員職業懇談会、企業見学への参加。大型実習船による研修航海。

2 年次

<海上生活への適応>
船員として必要な、船という運命共同体の一員として、自然に対して謙虚で、人に対して心温い姿勢、協調性を身に付ける。

<乗船実習>

校内（海上）での授業実習。大型実習船による遠洋航海実習。運輸局主催の船員職業啓発事業への参加。

3 年次

<労働環境への順応>
社会人として必要な、周囲への気配り、安全・保安の実践力を身に付ける。

<総合実習>

校内（海上）での授業実習。運輸局主催の船会社の協力を得た乗船実習（インターンシップ 3日間）。船会社説明会への参加。

専攻科

<向上心の育成>

上級海技士資格の取得を目指し、船舶の幹部船員としての資質、能力を身に付ける。

大型実習船による航海・機関実習。船会社の協力を得た乗船実習（インターンシップ 7日間）。

<海洋生産科>

1 年次

<海での安全確保>
水産教育を学ぶ上で、必要な「安全管理・協体制・指示の徹底」を、集団行動を通して身に付ける。

<水産海洋基礎実習>

カッター訓練、ロープワーク、潜水基礎、包丁の取扱い等、基礎的な技術を習得する。

2 年次

<責任感>
専門的な作業手順の習得および「自覚と責任感」を身に付ける。

<班別実習>

班編成により、食品加工や飼育管理を担当し、その結果を総括する。

3 年次

<経験値>
豊富な活動を通して専門的な経験値を上げ、さらに役割分担により自主的な実践力を身に付ける。

<総合実習・課題研究>

研究開発等を通して、専門分野への興味・関心をさらに高め、進路実現に繋げていく。

